

IPERC News Letter

千葉大学大学院看護学研究院附属
専門職連携教育研究センター

2022年度版

医学部附属病院とのコラボレーションの拡大

令和3年度はwithコロナとして2年目の活動となり、様々な制約を受けながらもIPEを推進した1年間となりました。

亥鼻IPEは2年目の遠隔IPE授業となり、ICTを活用した方法で、学生のために、患者様をはじめ、様々な現場で働く専門職の皆様、模擬患者の皆様にご協力をいただきました。深く感謝申し上げます。あらためて亥鼻IPEが関係各所から大切にされている様を実感することができました。また、昨年度は実施できなかったクリニカルIPEを、今年度は規模を縮小はしましたが実施することができました。千葉大病院のIPWの進展を実感する機会となりました。そして、千葉大病院とは、来年度の新入職員へのIPW研修企画、新人看護師と研修医との合同技術演習企画、特定行為研修共通科目での専門職連携実践演習など、連携強化が可視化された1年でした。

また、令和3年度から看護学研究科の大学院博士前期課程のカリキュラムが一新され、専門職連携実践論、専門職連携教育論、災害時専門職連携演習の3科目が正規科目として組

Topics

- ▶ 大学病院とのコラボレーション
- ▶ 亥鼻IPEの同時双方向型授業としての展開
- ▶ 亥鼻IPEの教育活動実績
- ▶ IPE・IPW研修と地域貢献
- ▶ 国際交流活動

み込まれました。

外部からの委託研修も引き続きオンライン実施しましたし、近隣自治会からの依頼で、対面勉強会を実施することができました。海外との交流もオンラインで活発に行いました。そして、南江堂NurSHAREというWEB情報サイトで「IPEを始めましょう、そして続けましょう」という連載を3月よりスタートさせています。

▶ 大学病院とのコラボレーション

大学病院新人採血実習 2021年4月26日(月)

千葉大病院で今年度の新人看護師と新人医師合同で静脈血採血の技術研修を行いました。研修医・医師・看護師・教員が参加しました。



看護師特定行為研修 2021年7月30日(金)

千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター主催の特定行為研修の共通科目のうち、「医療安全学/特定行為実践」(チーム医療演習)に協力しました。情報伝達スキル、カンファレンスの基本動作、対立の解決のストラテジーについて、オンラインで実施しました。

介護・医療DX人材育成プログラム 2021年12月25日(土)

文部科学省事業「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」の一つとして千葉大病院で「地域密着 介護・医療 DX人材育成プログラム」が開講され、IPERCは「IPE(地域医療・介護支える多職種を繋ぐ)研修」という実習科目を提供しました。年齢も国籍もキャリアも異なるバックグラウンドをお持ちの24名が受講しました。模擬カンファレンスでは、患者・利用者中心のケアやサービスを実現し、向上していくための最善策を巡り、議論が熱く盛り上がりました。

▶ 亥鼻IPEの同時双方向型授業としての展開

withコロナでのIPEの展開

COVID-19の感染拡大防止のため、令和3年度はStep1～4をすべてオンラインで実施しました。千葉大学Moodle、Googleクラスルーム、Zoomを駆使して、Step1では入院患者さんとのオンラインインタビューやメールインタビューを、Step2では専門職へのオンラインインタビューを実現させました。Step4では、模擬患者さんとの面接や専門職へのコンサルテーションもZoomのプレイクアウト機能を存分に使って、実施しました。

クリニカルIPE

3学部の実習可能条件を満たす千葉大病院の6診療科6病棟において実施しました。合計7グループ29名（医学部5年生7名、6年生1名、看護学部4年生12名、薬学部5年生9名（内3名は他大学））が参加しました。学生のプログラム評価アンケート（回答率84%）から、9割以上がCIPEの学習効果があったと回答しました。

患者さんへのインタビュー

【新型コロナ禍でのSTEP1】 看護部副看護師長：富重由美子さん

初めてのヘッドセットを付けPCのカメラの前に座ったAさん、学生との会話が始めると途端に笑顔になり、「孫に会えたみたいだった」と話されていました。面会制限の中、学生と話すことは、喜びでもあったようです。Bさんは、前夜

に話す内容を書いた原稿を手に、学生に向かって話してくれました。インタビュー後、「少しは役に立てたかな。上手く伝えられたかな」と心配されながらも、「これからの未来の医療者として、頑張ってください」とエールを送っていました。

▶ 亥鼻IPEの教育活動実績（令和3年度）

本年度、亥鼻IPEを受講した学生は、総計1120名でした。

内訳（名）

Step1：343（医学部116、看護学部82、薬学部95、工学部50）
Step2：283（医学部113、看護学部77、薬学部93）
Step3：263（医学部129、看護学部77、薬学部57）
Step4：231（医学部109、看護学部81、薬学部41）

これらの亥鼻IPEには、延べ171名の各学部教員・附属病院および協力病院の専門職が指導に携わりました。

内訳（名）

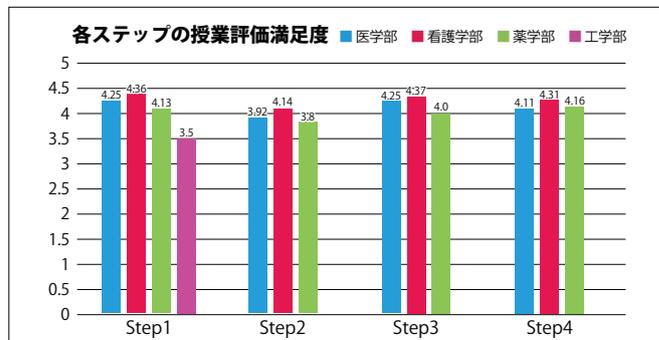
Step1：49（医学部11、看護学部14、薬学部7、工学部12、その他5）
Step2：25（医学部11、看護学部9、薬学部4、附属病院1）
Step3：27（医学部10、看護学部9、薬学部8）
Step4：70（医学部8、看護学部8、薬学部7、医学部附属病院医師10名、同看護師11名、同薬剤師5名、同作業療法士3名、同理学療法士3名、同言語聴覚士1名、同社会福祉士7名、同心理カウンセラー2名、同遺伝カウンセラー1名、同管理栄養士4名）

またStep1、Step2では、医学部附属病院をはじめ、千葉市内の病院その他の保健医療福祉施設34か所に、ふれあい体験実習・フィールド見学実習でお世話になりました。

内訳（施設数）

Step1：病院2、福祉施設1
Step2：病院4、診療所7、薬局11、訪問看護ステーション4、回復期リハビリテーション病院3、老人保健施設・介護福祉施設2

Step1では、34名の入院患者さんがオンラインインタビューに、7名の在宅療養者の方がメールインタビューにご協力くださいました。



災害時IPE演習

2022年2月28日、3月1日、3月3日の3日にわたって同時双方向型オンライン授業として開講しました。受講者は災害看護を専攻する大学院生で、チームを組み、水害が起きた際の専門職連携をシミュレーションを通して体験しました。講師として長年本授業

にご協力頂いた千葉大学環境リモートセンシング研究センターの近藤昭彦先生が、2023年3月末に退官されることになり、今回が最後の講義となりました。渾身の講義、災对本部長である市長役を演じていただき、本当にありがとうございました！

▶ IPE・IPW研修と地域貢献

【IPE・IPW研修のオンライン開催】

2018年に開始したIPE（専門職連携教育）・IPW（専門職連携実践）研修は、今年もオンラインで開催しました。eラーニングサイト

でIPW理論編を受講し、Zoomによる実践編で演習を行います。令和4年度もIPE・IPW研修のオンライン開催を予定しております。

開催実績

IPEカリキュラムマネジメント&授業開発研修	2021年8月22日(日)、 2021年11月23日(火・祝)の2日間	5名	
IPWマネジメント研修・ベーシック研修 理論編	2021年6月1日(火)～2022年1月31日(月) eラーニング	23名	
IPWマネジメント研修 実践編	2022年1月22日(土)	2名	
IPWベーシック研修 実践編	職種間の理解	2021年10月13日(火)	7名
	チーム内の効果的なコミュニケーション	2021年10月26日(火)	6名
	チームワークの促進スキル	2021年11月16日(火)	8名
	対立の解決	2021年11月30日(火)	7名
	多職種カンファレンス	2021年12月14日(火)	8名

地域貢献活動

【受託事業】

■認知症専門職における多職種協働研修

千葉県からの委託事業として受託し、2021年12月19日(日)と2022年1月29日(土)の2回、オンラインで開催しました。県内から合計114名の参加がありました。

■千葉市葛城地区避難所運営委員会でのHUG 勉強会

千葉市葛城地区避難所運営委員会より事業委託を受け、地域の防災力向上を図る「葛城地区避難所運営委員会HUG勉強会」を2022年2月17日(木)に開催しました。この勉強会に向け、IPERCでは避難所運営ゲーム(HUG)の葛城地区バージョンを作成して、静岡県より使用許諾番号(386号)を取得しました。

当日は、葛城地区避難所運営委員・あんしんケアセンター千葉寺職員・中央区障害者基幹相談支援センター職員・中央区地域振興課職員・葛城公民館職員・葛城中学校教頭が参加して葛城地区のHUGと一緒に体験することで、高齢者や障害者など、災害時の避難行動要支援者の避難について学ぶことができました。



▲HUG勉強会のようす



▲使用許諾番号を取得

■看護教育情報サイトにおけるIPEについての発信

医学書出版社の南江堂が運営する看護教育のための情報サイトNurSHAREにて、2022年3月から計5回にわたり、IPERCが、IPEの重要性、カリキュラム設計や授業デザイン、実践例といった、実際の計画・指導に役立てられる知識や情報を発信しました。また、メディア出版の看護教員向けのweb情報誌に、「専門職連携教育を発展させるためのポイント」と題して特別寄稿を掲載しました。

その他(組織評価・研究実績・人員異動)

6年間IPERCの発展に尽力してくださった馬場由美子先生が2021年3月末に異動となりました。先生からのご挨拶(挨拶)を紹介させていただきます。馬場先生、ありがとうございました!



▲馬場由美子先生(写真右)

【異動のご挨拶】馬場由美子先生より

今まで、医療人の育成という視点でIPEに関わることが出来たこと、非常に興味深い時間でした。稀有な体験で、楽しんで取り組むことができたと思っております。力不足のところがたくさんありましたが、教員の先生方をはじめ、事務部門の皆様の温かいサポートでなんとか取り組むことができました。こころから深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

研究成果

論文15本(うち、原著および査読付き論文3本)、学会発表10本、シンポジウム招聘9回。

外部評価

令和3年度の事業実績について、外部評価委員の評価を受けました。ICTを利用したオンライン授業が十分構築されていること、千葉大病院の深い理解と大きな支援があり、クリニカルIPEが実施されたこと、多職種協働実践能力向上のための研修などを多様な組織や団体に提供していること、また全学的視点からセンターの将来構想や、常に新しいことへのチャレンジをするという姿勢について、高い評価を頂きました。今後もIPERCのビジョンの達成に向けて少しでも歩みを進めていきます。

	IPERC 自己評価	外部評価委員評価			
		A	B	C	D
教育	B	2名	3名		
実践・社会貢献	A	5名			
研究	B	1名	4名		
組織運営	B	3名	2名		

A: 計画より進捗している

B: 計画通り進捗している

C: 計画よりやや遅れがある

D: 計画よりかなり遅れがある

▶ 国際交流活動

ライプツィヒ大学との学生交流が実現しました

コロナ禍に突入する直前の2019年1月にドイツ・ライプツィヒ大学を訪問し、その後準備を進めてきたライプツィヒ大学助産課程の学生と千葉大学の看護学部生との交流が、2021年6月22日に実現しました。ボランティア参加に手を挙げた本学の1・2年生11名と、2021年4月に開講したばかりのライプツィヒ大学医学部助産師

養成課程に入学した26名の学生さんがZoom上でグループに分かれて英語でディスカッションしました。この交流は内容を充実させ、後期には千葉大学看護学部が提供する留学科目の一つとして提供されました。5名の千葉大学看護学部生が参加し、1名が単位を取得しました。今後も交流を継続していくことで、合意しています。

台北医科大学のサマープログラムに講義動画を提供しました

台北医科大学より自校の看護学部の学生および教員向けに日本の看護教育を紹介する講義（動画）の依頼を受け、「日本の地域包括ケアシステム」、「日本及び千葉大学の看護教育」、「千葉

大学看護学部のカリキュラムと実習」という内容で、IPEプログラムについて発信しつつ、日本の看護教育を紹介しました。2021年8月に配信されました。

群馬大学IPEトレーニングコースに講義を提供しました

2021年8月23日から27日まで群馬大学でIPEトレーニングコースが開講され、IPERCは、亥鼻IPEのプログラムを紹介する講義動画「Development, Operation, and Future Expectation of

Inohana IPE」を配信しました。動画作成に多大なるご協力を頂いた看護学研究院のデビッド・カズノブ先生に感謝申し上げます。

【講師派遣依頼】 21件

他大学、学会、職能団体、大学以外の教育機関、学内附属病院、自治会、企業、公益法人などから職員・学生・住民などへのIPE関連の講義・セミナー・研修の講師

【研究協力依頼】 16件

CICS29（専門職連携実践能力、自己評価尺度）の使用許可

令和4年度 研修のお知らせ

IPEカリキュラムマネジメント & 授業開発研修

IPERC研修2022【教員対象】

IPEカリキュラムマネジメント&授業開発研修

【費用】 100,000円（2日間）

【日程】 令和4年8月20日（土）、11月23日（水・祝）

IPWマネジメント研修

多職種連携を推進する組織づくり

IPERC研修2022【管理者対象】

IPWマネジメント研修

理論編 【費用】 10,000円 eラーニングサイトにて受講（定員100名）

実践編 【費用】 20,000円

【日程】 令和5年1月22日（日）

（Zoom開催、定員10名、理論編受講済みの方対象）

IPWベーシック研修

今、現場で本当に必要な連携を実践

IPERC研修2022【実践者対象】

IPWベーシック研修

理論編 【費用】 10,000円 eラーニングサイトにて受講（定員150名）

実践編 【費用】 1講座 6,000円

【日程】 以下、どれも当日17時～20時にZoom開催

（1講座定員30名、理論編を受講済みの方対象）

令和4年10月11日（火） 職種間の理解

令和4年10月25日（火） チーム内の効果的なコミュニケーション

令和4年11月8日（火） チームワークの促進スキル

令和4年11月29日（火） 多職種カンファレンス

令和4年12月13日（火） 対立の解決

詳しくはHPをご確認の上、
お申し込みください。

<https://www.n.chiba-u.jp/iperc/>



[発行] 千葉大学大学院看護学研究院附属 専門職連携教育研究センター

〒260-8672 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 ☎ <https://www.n.chiba-u.jp/iperc/>

☎ 043-226-2614 ✉ inohana-ipe@office.chiba-u.jp 2022年10月1日 通巻4号